

## 平成27年度活動報告

学術調査ワーキンググループ(通算第7回)

海域対策ワーキンググループ



環境省 石垣自然保護官事務所



## 通算第7回 学術調査ワーキンググループ

### ■開催概要

日時：平成28年2月13日(土)

場所：国際サンゴ礁研究・モニタリングセンター

参加者：27委員、一般参加の方々

### ■発表内容

※配布資料9-2

# 海域対策ワーキンググループ オニヒトデ対策小グループ

## ■開催概要

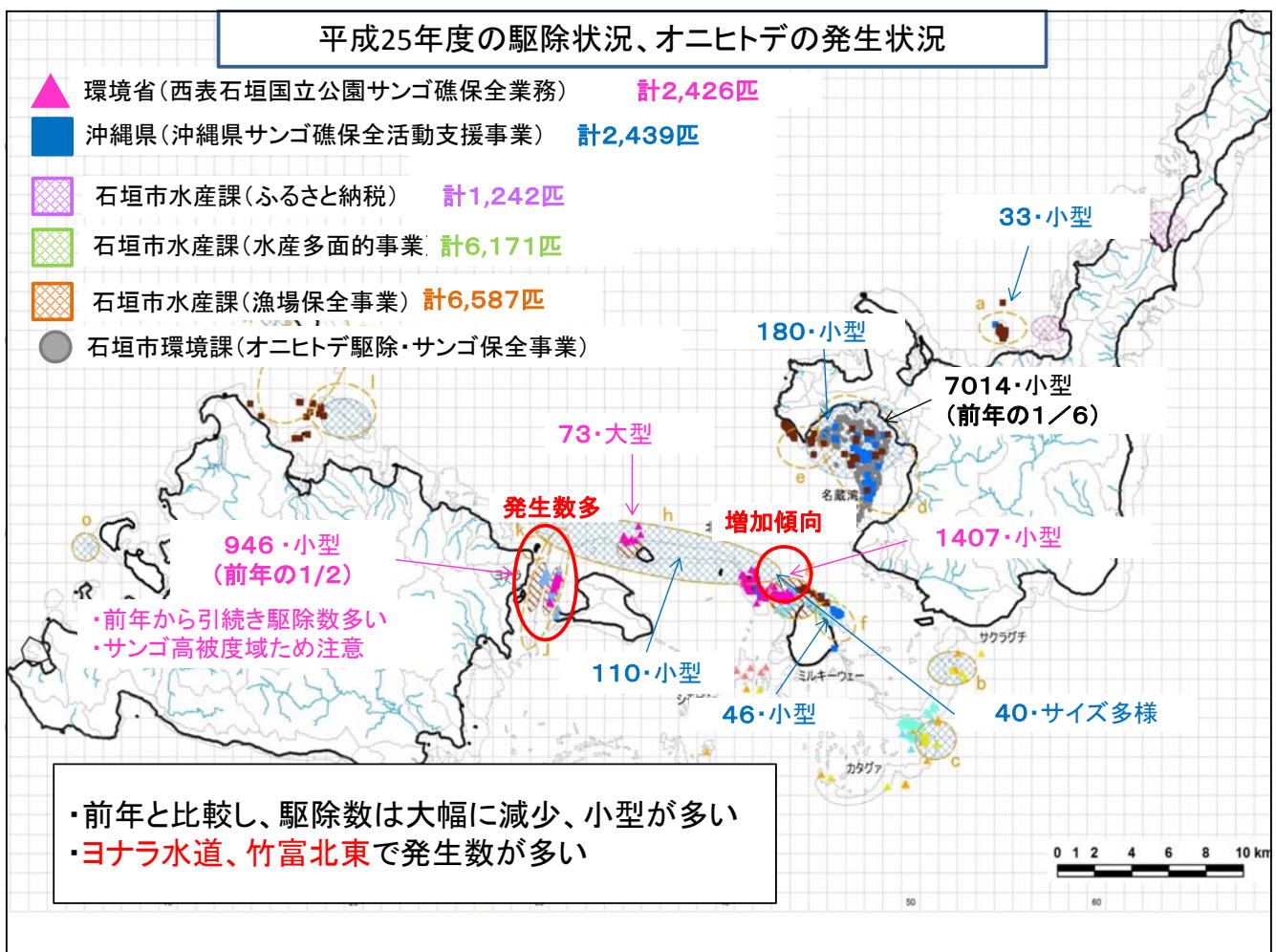
日時：平成27年6月29日（月）

場所：国際サンゴ礁研究・モニタリングセンター

参加主体：環境省、石垣市（水産課、環境課）、  
内閣府石垣港湾事務所

## ■議 題

- 1) 平成26年度のオニヒトデ駆除実績について
- 2) 平成27年度のオニヒトデ駆除計画について



## 平成26年度の駆除及びオニヒトデの出現状況

▲ 環境省(西表石垣国立公園サンゴ礁保全業務) 計1,620匹

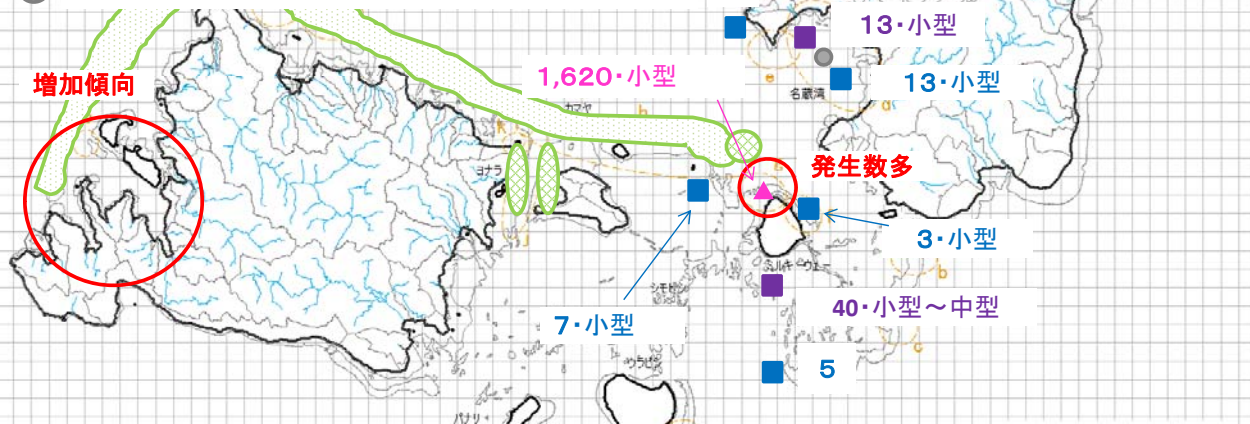
沖縄県(沖縄県サンゴ礁保全活動支援事業)

■ 実施者A 計 34匹

■ 実施者B 計128匹

■ 石垣市水産課(水産多面的事業)

● 石垣市環境課(オニヒトデ駆除・サンゴ保全事業)



- ・平成25年度と比較し、オニヒトデの駆除数は大幅に減少、小型が多い
- ・竹富島周辺では依然としてオニヒトデが多い
- ・平成26年春頃から崎山湾周辺でオニヒトデが増加傾向(中型・食害進行早い)

## 石西礁湖におけるオニヒトデ大発生海域(平成27年度現在)

▲ 環境省(西表石垣国立公園サンゴ礁保全業務)

波照間島 (東部) イーストキャニオン(駆除未実施)

インダビシ

173・中～大型

ヨナラ水道

H25、26は比較的多く発生していたが、H27は0～数匹

117・小型

243・小型

竹富島周辺  
恒常的に多い

崎山湾・網取湾(駆除実施中)

H26春頃から増加傾向  
(中型・食害進行早い、回復早い)

ウラビシ

4

0 1 2 4 6 8 10 km

- ・オニヒトデの駆除数は、平成25年頃から引続き、全体的に0～数匹
- ・局所的に多数発生している海域がある  
⇒モニタリング結果等を注視しながら、状況に応じた駆除を実施していく。

平成27年度(通算第7回)学術調査ワーキンググループの活動報告

資料9-2

日時：平成28年2月13日(土)14:00~18:15

会場：国際サンゴ礁研究・モニタリングセンター

番号	発表者	タイトル	概要
(1)特別講演			
1	東京工業大学教授 灘岡 和夫 委員	島嶼-サンゴ礁-外洋統合ネットワーク系 動態解明に基づく石西礁湖自然再生への 貢献(環境研究総合推進費プロジェクト)の 最終報告について	石西礁湖のサンゴ礁の衰退要因を解明し施策への提案を行うことを目指した、環境研究総合推進費によるプロジェクト「島嶼-サンゴ礁-外洋統合ネットワーク系動態解明に基づく石西礁湖自然再生への貢献」の研究成果について発表いただくとともに、メンバーによる意見交換を行った。
(2)話題提供			
1	岡本 峰雄 委員	劣化する石西礁湖北礁のミドリイシ群集	石西礁湖北礁におけるミドリイシの問題は、①正常に育つ群体は多くない。②健全なサンゴ礁の代表種であるクシハダミドリイシの劣化が著しい。③1998年より弱いが強力な白化環境が連続発生。④病気のサンゴが増えた。⑤リーフの石灰化が進んでいる可能性。これらのうち、①~③について紹介。
2	静岡大学特任教授 鈴木 款 委員	陸域からの環境負荷とサンゴの病気の関係	平成18年度から環境省の自然再生事業の一環として行ってきたサンゴの病気調査の成果をご発表いただいた。近年急速に拡大しているサンゴの病気について、陸域起源のバクテリアとの関係性(メカニズムの解明)や課題、対策を進める必要性などについて各地での事例などを交えて概説。現在までの石西礁湖における調査結果についても発表する。
3	鹿島建設(株)	コーラルネット <sup>®</sup> を用いたサンゴ群集の修復について	コーラルネットの特長紹介、活用事例についての報告。慶良間諸島海域におけるサンゴ群集の再生では、自然着生による方法、ネットによる礫固定による方法などを実施。那覇港の港内側におけるサンゴの成育が厳しい環境条件下でのコーラルネットの実証実験、などを報告する。
4	エム・エムブリッジ (株)	微弱電場下におけるサンゴの成長促進効果(GMC)	八重山の各港湾にも多数採用されている浮棧橋の電気防食による微弱電流発技術を応用し、2006年から種々の実験を行った結果、微弱電流がサンゴの成長に寄与している可能性が非常に高いことが分かった。
5	環境省	石西礁湖自然再生事業データの整理と利活用について	全体構想の短期目標の達成時期に向け、「展開すべき取組」の指標設定に活用するため、モニタリング等のデータ整理を開始した。